青森県立五所川原工業高等学校

同窓会関東支部 会報

VOL 113 2015年5月

発行／五所川原工業高校同窓会関東支部　事務局：東京都八王子市川口町1883-9 事務局長：後藤正一　発行責任者：春藤誠志（支部長）

無限の可能を求めて…

岩木の山は　いや高く
十川の水は　いや清し
林檎花咲くみちのくに
「無限の可能」求めんと
集いて学ぶ　友と我
おお　五所川原工業高校

学問と技術のきびしさを
日に夜に進む人類の
科学に挑む　友と我
おお　五所川原工業高校

白皚々の　津軽野に
岩木おろしよ吹かば吹け
理想に燃ゆる若人の
意気天を衝く前進に
凱歌もたのし　友と我
おお　五所川原工業高校

SGF
SCHOOL GOSYOGAWARA FELLOW
青森県立五所川原工業高等学校
同窓会　関東支部

昨年の新卒者激励会より

常に新鮮な関東支部であるために

同窓会関東支部長　春藤　誠志

五工高同窓会関東支部員の皆さん、ご健勝で自分ごと、ご家庭ごと、お遊びごと、お仕事ごとに励んでいることと思います。今年も皆さんに関東支部総会案内と活動状況を掲載した「支部会報」をお送りいたします。

次代移行へ、雰囲気作りをします。

今年度の五工高同窓会関東支部運営方針は、次年度に支部長を含めて役員及び運営委員を新しい人にバトンタッチができる次代移行雰囲気作りをします。従って、現役員と次役員候補者が一緒に関東支部を運営をします。是非候補者で参画して益々幸せに楽しく盛会な五工高同窓会関東支部にしていきましょう。

私ごとですが、私は支部長になって今年で8年目です。予定より長くなってしまいました。これは途中の平成23年6月26日、支部総会承認で関東支部会則改正があり、支部長任期4年（承認を得れば2年まで伸長）と決まったためです。私たちは常に新鮮な関東支部運営を目指しています。どうやら、会則通りにバトンタッチができそうです。

9回生の皆さん、赤い帽子と赤いスカーフがまっています。

今年の還暦祝いは9回生です。赤い帽子（男性）、赤いスカーフ（女性）の贈呈を受けてください。既に還暦を迎えた同窓仲間が同じ出で立ちで、また同窓会ユニフォームのTシャツを着た同窓仲間から祝福を受けてください。

6月28日（日）に同窓会でお会いしましょう。

皆さん、支部会報を隅々までご覧になり、関東支部イベント、東京青森県高校同窓会連合会イベント、友好高同窓会イベントで同窓仲間が楽しんでいる姿を見てください。今年度から楽しむのは貴方、貴女です。

さっ、生きていることに感謝して大いに楽しみましょう。我ら同窓仲間の標語『無限の可能』を求め、同窓仲間と関係者全てが『全校一体一家族』で歩んでいきましょう！

それでは参加して楽しさの実感ができる第48回五工高同窓会関東支部総会でお会いしましょう。

へばあっ！！

親睦会の恒例となりました「五工高音頭」

2015年度 同窓会関東支部総会および新卒者激励会開催のご案内

●日時／2015年6月28日（日）
新卒者激励会＝10:30～11:50（受付＝10:00～）
※新卒者激励会会場はエステック情報ビル21階D会議室
総会＝12:00～12:30（受付＝11:30～）
親睦会＝12:30～14:30（来賓受付＝12:00～）
●会場／ワイズ（エステック情報ビル4階）
新宿区西新宿1-24-1 Tel.03-5322-3545
●会費／男性=7,000円・女性=6,000円・新卒者=5,000円
※服装については特に規定はありませんが、できましたらカジュアル系・軽装でお願いします。

※新宿駅西口より都庁方面へ地下道を通ると便利です。

他校イベントに学ぶ

感謝、感謝のきもちで人生を歩みたい

五所川原工業高校同窓会関東支部の同窓会に出席して

弘前東高校関東支部同窓会
石沢　陸奥男

高窓連のボウリングを担当している石沢と申します。出身校は弘前東高校です。

昨年の初夏に貴校関東支部同窓会に出席させて頂きました。春藤さんから出席の感想文のご依頼が有りましたので寄稿させて頂きます。

学校長ごあいさつに、皆さん聞き入っているようですが…？

まず、私がビックリしたのは貴同窓会関東支部会報が112巻（注＝下段左隅に説明）という回数で年2回以上は毎年発刊していることになると思います。これは貴校同窓会の組織力の強さ、先輩から後輩への丁寧な引継ぎ等々、これも貴校のモットーとする「全校一体一家族」の考え方が原点に有ると深く感ずるところが有りました。私どもの同窓会も色々参考にさせて頂きますのでご指導のほど宜しくお願いします。

さて、昨年の夏、長野県のソフトボールチームと交流戦を行い、そのチームの監督は今年が卒寿で、詩を読んで頂き、感ずるところが有りましたので紹介したいと思います。

題名「つまずいたおかげ」

つまずいたり、ころんだり、したおかげで、
物事を深く考えるようになりました。

あやまちや失敗をくり返したおかげで、
少しずつだが人のやることを温かい眼で
みられるようになりました。

何回もおいつめられたおかげで、
人間としての、自分の弱さとだらしなさを、いやというほど知りました。

だまされたり、裏切られたおかげで、
馬鹿正直で、親切な人間の暖かさも知りました。

そして、身近な人の死に逢うたびに、
人のいのちのはかなさと、
いま、ここに生きていることの尊さを、
骨身にしみて味わいました。

人のいのちの尊さを、骨身にしみて味わったおかげで、人のいのちをほんとうに大切にする、ほんものの人間に裸で逢うことができました。

一人の本物の人間に、めぐり逢えたおかげで、それが縁となり、次々に、沢山のよい人たちに、めぐり逢うことができました。

だからわたしのまわりにいる人たちは、
みんなよい人ばかりなんです。

いまは懐かしい、正統派（?）の応援スタイルを披露。

感謝・感謝……終り

如何でしょうか？
私は今年が還暦。これからもまわりにいる人たちに感謝・感謝のきもちで人生を歩みたいです。

以上

薄くなったり、白くなったり…。それなりに齢を重ねた2回生の皆さんです。

編集者よりお詫びと説明

皆様より頂きました原稿につきましては、極力原文のまま掲載する方針でおりますが、誌面の都合上、やむなく調整させて頂く場合があります。ご了承願うとともに、お詫び申し上げます。

尚、当会報のナンバーですが、「VOL.113」の最初の数字は企画・編集責任者の番号であり、トータル号数とは関係ありません。「A」でも「イ」でも良かったのですが、文字並びのバランスが悪かったため、そのまま数字にしました。誤解を招く結果となり、改めてお詫び申し上げます。

墓参りの後、泉岳寺門を背景に記念撮影

新イベントに参加

悠湯山会主催の東京ウォーキングに参加して

両国から泉岳寺へ——赤穂浪士の足跡をたどる。

E3回生 熊木 光治

日頃の運動不足を実感。

いやー、歩いた、歩いたー。

日頃、ゴミ出しと公民館と図書館とホームセンターしか行かない身体にはホントこたえた。

さすがに「山の会」の方々は足取りも軽く「平地だから平気だ」なんて軽口も出てましたね。

この計画を知った時、オラにはちょっと無理だなと思いつつも申し込んだのは、

①東京に津軽(弘前)藩の痕跡がある事を今まで知らなかった。

②両国の吉良邸から品川の泉岳寺まで歩くという、アイデアの素晴らしさ。

③歩いた後の「懇親会」という文字の誘惑。これには勝てません。

ポイントがいっぱいの東京ウォーキング。幹事の皆様に感謝です。

当日は天候に恵まれ、行動隊長の秋元さんの綿密な下調べがあった事や、山田さんの懇親会の会場手配等のおかげで本当に楽しい充実した一日になりました。

両国、隅田川、築地、泉岳寺…。どこもすばらしいポイントでした。早く、病めるヒンジャカンブを治して、今度は是非ハイキングの方にも参加させてもらいたいものです。

今回いろいろ下準備をして下さった幹事の皆様、そして頑張って歩いた全ての方々お疲れ様でした。

少々寒かったけれど、素晴らしい「ぶらり旅」でした。

移動中の一行

津軽神社

築地場外市場

永代橋

美女に囲まれ、ご満悦の棟方さん。
掲載の写真は棟方さんの撮影によるものです。

泉岳寺(47士のお墓は左側にありました)

▼吉良邸跡
当時の吉良邸は、ゆうに2千坪を超えていたようですが、現在はご覧のとおり。
地元の有志の皆さんによってほんの一部が再現されました。

コミュニケーション箱

ご意見・ご感想・ひとりごと…
テーマは自由。皆様の投稿をお待ちしています。

年の瀬に、互いの思いをぐだめぎ合う。

E4回生　今　行雄

きっかけは、「ぐだめぎ」たい！

「ぐだめぎの会」なるものがあります。年の瀬も押し詰まった12月29日～31日の間に行われる、年末恒例の飲み会です。

池袋駅南口前の「一軒め酒場」にて

発起人は海外出張が永かった加藤俊一さん（E4）。年末に帰国した彼は、仕事上の後片付け、家庭内の大掃除などをこなし、ホッと一息ついたところで、何か物足りなさを感じたのでしょうか。

これで年が明けたらまた海外へ……？これでは「帰国した意味が無いじゃん！」。そこで彼は同期の仲間に連絡してみようと思い立ったのでしょう。あっちこっちに電話します。年末年始は「家でのんびり」派が多い中、いましたね。「何か物足りない」と感じている輩が…。

ぐだめぎの会発起人の加藤さん

山田譲、そして私・今行雄。この3人が池袋に集まり、お互いに積もりに積もった一年間のアカを洗い流す、もしくは吐き出す。といった、いわゆる「ぐだめぐ」ことを主目的に現在に至っております。

「ぐだめぐ」内容は様々。

会は「ぐだめぎ」のオンパレード。仕事のこと、家庭のこと、趣味や遊び…ときには政治や経済のこともありますが、そこはそれ。深く突っ込むことは有りません。

お互い積もったウップンを吐き出し、スッキリした気分で新年を迎えることが主目的ですから、聞き役としては突っ込みも控えめ。

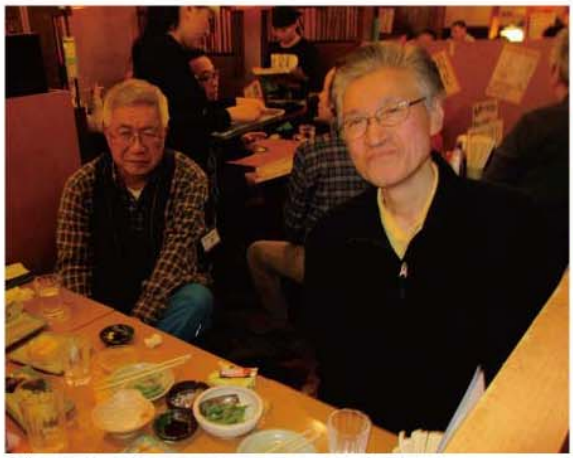
回を重ね、もう10年以上が過ぎました。この間、参加者も増えました。小沼正治さん、白鳥豊治さん、そして神秀武さんが加わりました。全員4回生、そして全員が電気科。特に規定は無いのですが…。

皆さんそれぞれ「ぐだめぎ」源があるんですね。大声で公言できるような事ではないので、話の内容は公開できませんが、人を傷つけるようなことは無い、ということは断言できます。

小さな集まりも、やがて総会へ。

今後も我々に生有る限り、この会は続ける予定です。大げさですがこの世の中、何でも言いたいことが言える場って、そんなには有りません。年に一度腹の底から「ぐだめぎあえる」本当の意味での忘年会を目指しています。

皆さんにも身近な仲間うちでの集まりがあると思います。「あんな、こんな集まり」の話、ぜひご紹介ください。小さな集まりがいつか大きな集まり（総会）になれたら幸いです。


公私ともに忙しい神さんも駆けつけてくれました。右は小沼さん。

皆さん、今年も無事で何より。来年もまたね。（幹事役=今）

2014年西北地区交歓会

料理班、山登り班ともに川原で合流。秋のひとときを楽しむ。

E4回生　今　行雄

近い、と言っても山は山。

秋の行楽シーズン真っ只中、やって来たのは埼玉県・飯能市。集合場所の駅前にはほぼ全員遅れることなく集合しました。

一行はここで、料理班・山登り班に分かれて行動します。皆さん慣れたもので、それぞれのリーダーの指示に従います。アルコールが入る前とは言え、これは立派。

日頃の運動不足を痛感。あ～しんど！

山登りグループは目標の「天覧山」まで約3500歩の山登り。「楽勝じゃん！」と思うでしょうが、これが結構キツイ。日頃の運動不足が心肺を、そして足腰を容赦なく責め付けます。

「こんな事なら料理班の方が良かったかな…」なんて、ぐだめぎたくなる心を抑え、ヒー、ハー。ノドも乾いてきますよね。でも、まだビールはおあずけですよ。

旬の味に舌鼓。これが役得？

一方、料理班はといいますと、メニューに合わせた材料の仕入れ、酒屋さんとの交渉、会場点検、調理場セッティング…。開店前の居酒屋さん並の忙しさです。

あ、もちろんそれだけではありませんよ。役得といいますか、仕入れ時点で刺身用の新鮮サンマがありましたので、ちょいと試しにお刺身なんぞを造ってみました。いやぁ～美味しかったです。山登りグループにも味わっていただきかったのですが、どこかのノラ猫が食べちゃったんでしょうね。残念でした。

地区担当のみなさんに感謝。

会場はテントが張ってあり、雨天対応も万全です。幸いなことにこの日は好天で、その必要もありませんでしたが、ここまでの準備手配をしてくださった地区担当役員の皆さん、山登りの案内をしてくれた秋元さんに心より感謝です。

さて、青空のもとでの宴会もたけなわ。一品、一品に舌鼓を打ちつつ、いよいよこの日のメインに。「せんべい汁と、鮭のちゃんちゃん焼き」がそれ。この日の料理長・神秀武（E4）さんの下、仕込みのお手伝いは、いつものメンバー、中村・中田・今。そして今回初参加の平山つづ子さん（E4）、同窓会でおなじみになりました、田名部高の松原さん。お二方はゲストにも拘わらず、お手伝い頂き有難うございました。ご参加いただいた皆様、大変有難うございました。

それにしても、あ～、酒が旨い！

鮭のちゃんちゃん焼き。これは旨そうだ。

梨の皮むき競争？　りんごで慣れているせいか、いやお見事！

皆さん充分堪能し、満足の様子です。

第7回秋の悠湯山会（昨年11月実行）

昨年秋は、奥多摩「棒ノ折山」でした

E18回生 中村 嘉雄

標高は関係なし。山をあなどってはいけない。

第7回秋の悠湯山会は、奥多摩の標高969mの「棒ノ折山」に行ってきました。

始めに参加案内を見たときには、登り3時間半、下り2時間半という長～い時間。この登山時間には日頃運動不足の私には、少々不安。おそらく自分と同じであろう他のメンバーも不安を感じたことでしょう。

この日の参加者は男性9名のみ。いつもの15～20名よりは大分少ない人数となりました。

マイナスイオンを浴びながら岩の間の水を進む。

当日は天気も良く、絶好の登山日和です。山頂までは川沿いを清流の「マイナスイオン」を浴びながら紅葉を眺めつつ、所々にある撮影ポイントをすすんで行きます。とは言え、そこは山道。時には大きな岩と岩の合間を抜け、アスレチックな登りに悪戦苦闘しながらハードな道程をようやく越えます。

つらい思いの後には山からのごほうびが…

約3時間程登ったところで、ようやく登頂へ。そこには約50人ほどの老若男女がみんな楽しそうに歓談し、景色を眺めていました。

おにぎりを頬張り、お茶で喉をうるおし、しばし絶景を楽しむ…。これが山歩きで汗を流した人に対する山からのご褒美なのでしょうね。

絶景と美味しい空気を頂いた後は、次なる目標に向かって出発です。下りは登りにも増して注意が必要です。「膝が踊り」バランスを崩しそうになるのを抑えつつ、慎重に歩を進めます。「下山したら…」という、楽しい目標があるためでしょうか。思いの外、早く無事に下山できました。

山頂からの眺め

目的を終えた後の「楽しみ」が待ち遠しい。

里の広場では待ちに待った「乾杯！」いや～、ビールの旨いこと。言うこと無いです。「乾き」と「飢え」は、まさに名調理人。これがあるから、山歩きはなかなか止められない、と言うのも解ります。

ただ、喉の渇きをアルコールで癒すのは、医師はNGと言います。理由はあえて書きません。ほどほどにしましょうね。

でも、皆さんが持ちよってくれたつまみの数々、つらさも忘れて美味しく頂きました。そして楽しく語らいました。

企画・実行の皆様に感謝、感謝です。

毎回の企画・準備・連絡に携わってくださいました、齋藤太市会長、秋元陽一さん、中田美穂子さん、本当に有難うございました。お手数ですが次回もよろしくです。

それでは、次回の遊湯山会を楽しみにしつつ、改めて乾杯！

また会いましょう。

山頂は広い平地

写真／山登りメインの「みやっちさん」の登山ブログより勝手にお借りしました。

2015年東地区交歓会計画

今年の地区交歓会は新京成線・常磐平で梨狩りと旨い中華料理で盛り上がるぞ〜!!

主催者・東地区幹事／押尾ヨコ・熊木光治

今年は東地区の担当です。よろしくお願いします。

千葉県の秋と言えば何と言っても「梨」です。美味しい梨と津軽の（ホラ吹き）と適度なお酒で楽しい時間を過ごしたいと思います。

以下、当日の計画。ちょっとの雨なら決行です

■実施日／平成27年9月27日（日曜日）

「彼岸花」と「梨」と「小宴会」です。

■集合場所／新京成線「常盤平」駅に10時集合。（解散は同駅14時30分）

■会費／2，000〜3，000円（現検討段階）※これは食事代です。梨については各自計量の上、購入となります。

※昼食は仕出しの弁当を梨園内で食べるか、すぐ隣の中華料理店にします。

※梨園（吉乃園＝松戸市金ケ作269-3　電話047-387-3281）の大まかなルール／●入園は無料、梨園が用意した試食の梨は無料●自分が収穫した梨は計量の上、料金を支払う（昨年は1kg650円でした）●地方発送可能です。

写真はイメージです。この時期は約3種類の梨が収穫可能だそうです。（二十世紀、豊水、かおり、あきづき、あたりですかね）

ⓒ松戸市

当日のタイムスケジュールです

●10時／新京成線・常盤平駅を出発

●10時15分〜10時40分／祖光院（寺）で彼岸花を観賞

●11時／吉乃園到着。12時まで梨の試食、梨狩りを楽しむ

●12時〜13時45分／食事と懇親会

●14時30分／常盤平駅で解散（問題を起こさずまっすぐ帰ってくださいよ。）

●出欠の確認／弁当にしろ中華店にしろ人数確認が必要です。最終的に9月13日までに集計します。

※本件に関してお問い合わせがありましたら（熊木＝080-2187-1117）までお願いします。

地図・イメージphoto=松戸市

2015年 五工高同窓会関東支部イベント案内

今年度のイベント案内を以下の通りご案内いたしますので、同封のはがきで該当項目に○をして、返信をお願いします。**6月16日までに投函**してください。

■以降のイベント参加者には開催前に詳細案内をいたします。

お名前：　　専攻科目：

卒業は、　　年3月です。（　　回生です。）

❶支部総会・親睦会に、　・参加　・不参加
　二次会に、　・参加　・不参加

❷7月26日（日）ボウリング大会（高窓連主催）
　靴代含会費 ¥3,000− に、　・参加　・不参加

❸9月27日（日）バーベキュー祭（高窓連主催）※関東支部は不参加ですが、個人参加は自由です。
　会費 ¥3,000− に、　・参加　・不参加

❹9月27日（日）地区交歓会『新京成線・常磐平で梨狩り&中華料理で懇親会』　会費 ¥3,000− に、　・参加　・不参加

❺悠湯山会等の他イベントに、　・参加　・不参加

❻貴方・貴女からのメッセージ：